

## 【リニューアルコース】 技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
1841	技能五輪国際大会コミュニケーションの実践_C	令和6年7月8日(月)～7月9日(火)	50	2
開催会場	東京駅近郊会場	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい及び到達目標	大会本番で、通訳者を介して、どのように自分の意見を伝えれば良いのか、どのように質問すれば満足のいく回答をもらえるのか、など実践的なコミュニケーション・スキルを習得します。また、他国エキスパート(外国人外部講師)とのコミュニケーションのシミュレーションを行います。 (到達目標) ・通訳を通じたコミュニケーションが円滑にできる。			
最低限必要な知識	技能五輪国際大会に関する基礎的な知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)		講義	実技・演習
	1 第47回技能五輪国際大会の最新状況 (1) 技能五輪国際大会の最新情報アップデート (2) 大会参加に向けての準備  (第47回技能五輪国際大会の最新状況と競技課題・採点基準等の準備状況を解説します)		1 H	
	2 通訳者を介したコミュニケーション・トレーニング (1) ディスカッション・シミュレーション (2) 質問・シミュレーション  (エキスパートが大会で直面する問題事例を基に、通訳者を介して、それをどのように解決してけば良いのか、手順と方法について習得します。また、海外エキスパートにどのようにすれば自分の意見を伝えることができるのか、シミュレーションしながら習得します)			5 H
	3 通訳を通じたコミュニケーション法の実践 (1) 採点項目・基準に関する議論 (2) 採点の実施 (3) 競技課題・職種定義に関する議論 (エキスパート・ミーティング、選手とエキスパートのコミュニケーションをシミュレーションし、通訳を通じたコミュニケーションや本番に向けた課題を洗い出します。エキスパート役のネイティブ・スピーカーを各グループに配置し、共通のテーマに沿って議論を行う形のトレーニングです)			6 H
			1 H	11 H
リニューアルの概要及びアピールポイント	通訳者、エキスパート及び選手が同時に大会本番の流れを確認できる唯一の研修となります。また、WorldSkills Japanのメンバーが互いにその準備状況を確認できる機会ともなります。			
研修成果が活用できる職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
担当教員(ユニット)	菊池拓男(情報通信ユニット) 市川修(メカトロニクス) 半田純子(技能DXユニット) 内田夕津(国際・地域支援) 部外講師(ネイティブ・スピーカー、技能五輪国際大会通訳経験者等)			
使用する機器等				
受講者が用意するテキスト(予定)				